

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部	高齢福祉課
施設名称	[26] 東京都台東区立まつがや高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人 東京援護協会	
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1	～ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区松が谷4-4-3 [規模] 延べ床面積 4,671㎡のうち1,297.01㎡ ケアハウス松が谷内 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階のうち2階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員35名） [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 23名（内訳）事務員（1）、相談員（1）、介護職員（常勤4、非常勤9）、看護職員（非常勤2）、運転手（非常勤6）

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	11,759,000	11,759,000	15,355,000	15,355,000
	利用料金収入	79,958,000	84,794,282	76,425,000	85,197,439
	その他収入（退職給付引当資産取崩収入）	1,201,000	15,012,909	1,000	70,335
	計	92,918,000	111,566,191	91,781,000	100,622,774
支出	人件費	61,416,000	59,573,959	62,683,000	62,707,999
	光熱水費	4,421,000	3,628,152	4,055,000	3,065,787
	維持管理費（委託料・賃借料）	14,187,000	13,747,089	12,791,000	11,470,225
	修繕費	144,000	104,198	95,000	944,928
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	12,750,000	11,037,682	12,157,000	12,067,826
	計	92,918,000	88,091,080	91,781,000	90,256,765
収支			23,475,111		10,366,009

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	310	309	312	311
定員	人	35	35	35	35

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率	%	87	89.0	86.1	84.6
利用者数	人	9,440	9,673	9,405	9,213

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
一般浴を利用したいとのニーズが多く、職員配置を変更するなどの工夫を行い一般浴利用者の増加を図った。また、引き続き職員提案による省エネに対する取組みを実施し、収支の改善にも寄与した。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の運営にあたっては法令等を遵守し、適宜区との情報共有もなされている。また、災害マニュアルを更新し緊急時における各部署の動きを明確に示す等、防災に対する意識も高い。全般的に適切な施設管理が行われている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	地域との連携強化に努めており、近隣の祭りに参加したり、幼稚園や保育園との定期的な交流会を開催している。施設の事業計画や区の条例等に基づき、概ね良好な事業運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設設備の定期点検を実施、緊急性のあるものは適宜修繕を行うなど、施設の適切な維持管理に努めている。また、節水コマの取付け等により電力・ガス使用量の削減を図るなど、省エネへの取組みも行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	食事に関するアンケートを毎日実施するなど、利用者ニーズの把握に努めてサービスの向上を図っている。利用者満足度調査の結果も、全体の90%の方が「大変満足」・「満足」していると回答するなど好評価であった。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	委託業務内容の見直しや契約電力の変更などの取組みにより、事務費や光熱水費の削減を図った。収支も改善しており、全体的に適切な予算管理がなされている。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	施設独自の取組みとして利用者の帰宅時足湯を実施しており、利用者から体調が改善したとの感想が寄せられるなど、サービス向上のための取組みを実施している。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
極めて良好 (104 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>地域との連携強化に努めており、利用者が近隣の住民と交流する機会を確保している。また、自主的な取組みである足湯が好評を得ていることから、今後も利用者のニーズの把握に努めてサービスの向上に取り組んでいく。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高水準ではあるものの、前年度より若干利用率が減少したため、今後も利用者確保に取り組んでいく必要がある。